

J-POWERジェネレーションサービス 企業説明資料

 J-POWERジェネレーションサービス株式会社

当社は、電力会社として電気を作り、人々の生活を
支える会社です。

会社HPはこちら！



採用HPはこちら！



全国の工業高校出身者 約500名が活躍中！！

過去3年間で32名の工業高校出身者が入社しています

2026年入社 : 13名

2025年入社 : 11名

2024年入社 : 8名

初任給 : 257,600円

イントロダクション 電力業界の役割とは？①

突然ですが、皆さんに質問です！

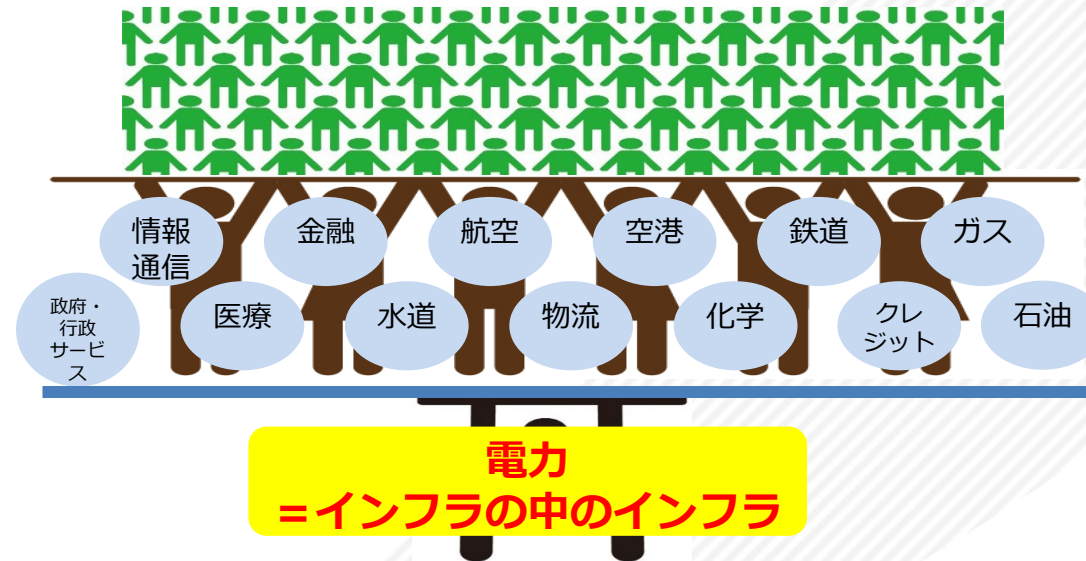
Q.皆様にとって電気とはどのような存在ですか？

Q.電気を使わずに生活できますか？

A.毎日当たり前のように、無意識に電気を使っているはず。

電気は私たちの生活にとって「必要不可欠」な存在であり、社会を支えるインフラ（社会や生活を支える基盤となる施設や設備）の下支えをするのが、電気の役割です。

重要インフラ

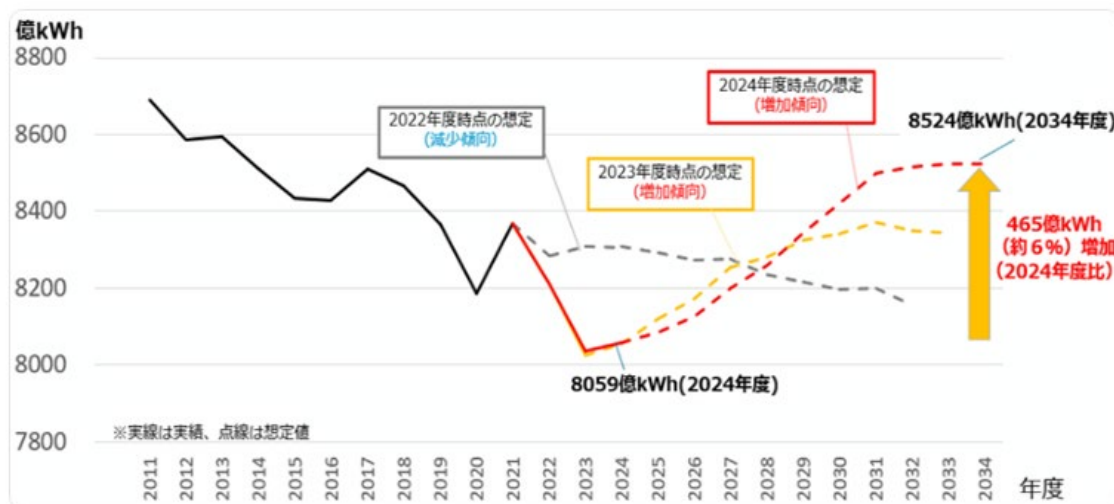


イントロダクション 電力業界の役割とは？②

DXやGXの進展に伴い、今後の電力需要は増加傾向。電力業界は重要な役割を果たす。

- 電力需要は増加傾向にある。
- 2034年度には、465億kWh増加見込み（2024年度比）
DX（デジタルトランスフォーメーション）の進展：データセンターや半導体工場の新增設
GX（グリーントランスフォーメーション）の進展：電動車や産業の電化

電力需要量（全国合計）の想定



身近でも進むDX化



DX：ビッグデータやAI等のデジタル技術を活用し業務プロセスやサービスの改善とともに、組織や風土の改革を図ること

GX：クリーンエネルギー中心の産業・社会構造への転換していく経済社会全体の改革の取り組み

(出典) 資源エネルギー庁
『大きく変化する世界で、日本のエネルギーをどうする？「エネルギー基本計画」最新版を読み解く』

J-POWERジェネレーションサービスはこんな会社！①

事業内容

①どの業界に属している？

⇒「電力業界」に属しています。

②事業内容は？

⇒ J-POWERグループの主要企業として全国6か所の大規模火力発電所の運営全般を担い、発電所全体の運転管理・保守を行っています。また、地熱発電所の保守・運転を担っている他、建設中の大間原子力発電所事業にも協力・参画しています。

③当社の役割は？

⇒**発電所を安定的に運営することが、当社の使命です。**

5%に相当する日本の電気を当社運営の発電所で作り、生活と産業に不可欠な「電力エネルギーの安定供給」を支えています。

J-POWERジェネレーションサービスは、「必要不可欠」な電気を発電所で作り出し、電力の「安定供給」に貢献する会社です！

J-POWERジェネレーションサービスはこんな会社！②

J-POWER(電源開発株式会社)は戦後の電力不足を解消するために国によって設立。2004年に完全民営化。J-POWERグループは、全国で発電所を運営しており、日本の電力供給を支えています。

J-POWERグループの事業（国内）

発電事業



火力



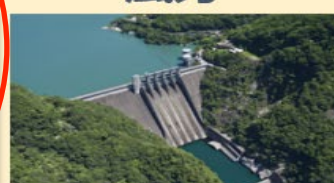
風力



原子力



地熱その他



水力

送電事業



送電・変電

情報通信



連結売上高：1兆1,182億円 連結経常利益：1,585億円 連結従業員数:7,127名
(2025年度実績)

J-POWERジェネレーションサービスはこんな会社！③

◎設立年月 : 1967年6月

業種 : 電気業

資本金 : 5億円

親会社 : 電源開発株式会社(J-POWER)

従業員数 : 約1,300名

売上高 : 1,091億円 (2026年3月期)
1,169億円 (2025年3月期)
980億円 (2024年3月期)

本社所在地 : 東京都中央区築地5-6-4

主な事業所 : 本社、全国7か所の火力発電所、鬼首・山葵沢地熱発電所、
大間原子力発電所(建設中)、技術・環境センター

私たちは、J-POWERグループの一員です！

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

J-POWERジェネレーションサービスの事業所



高砂火力運営事業所
(兵庫 50万kW)



大間原子力発電所:建設中(青森)



鬼首事業所 (宮城)



竹原火力運営事業所
(広島 130万kW)



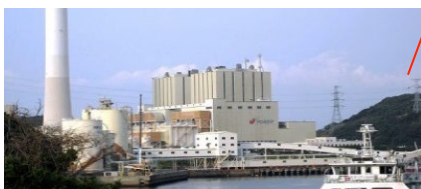
本店 (東京)



松浦火力運営事業所
(長崎 200万kW)



磯子火力運営事業所
(神奈川 120万kW)



松島事業所
(長崎※2025/4/1よりGENESIS
松島計画に向けて休止中)



技術・環境センター (福岡)



石川石炭火力運営事業所
(沖縄 31万kW)



橋湾火力運営事業所
(徳島 210万kW)



J-POWERジェネレーションサービスの事業所

- J-POWERグループは40年以上に渡る地熱発電所の運営経験を有し、そこで培った地熱資源調査・管理、発電所計画・建設・運転といった、地熱発電に関する一貫したノウハウを活かしながら長期的視点で発電所の安定運営にあたるとともに、新規の開発にも積極的に取り組んでいます。
- J-POWERジェネレーションサービスはこれらの地熱発電設備(鬼首地熱発電所、山葵沢地熱発電所)にも建設、運転、保守の面で参画しています。
- 大間原子力発電所は、1976年に計画に着手し、2008年5月、建設工事を開始。現在、安全確保を最優先に、環境保全に十分配慮しながら、各種作業を推進しています。

鬼首地熱発電所

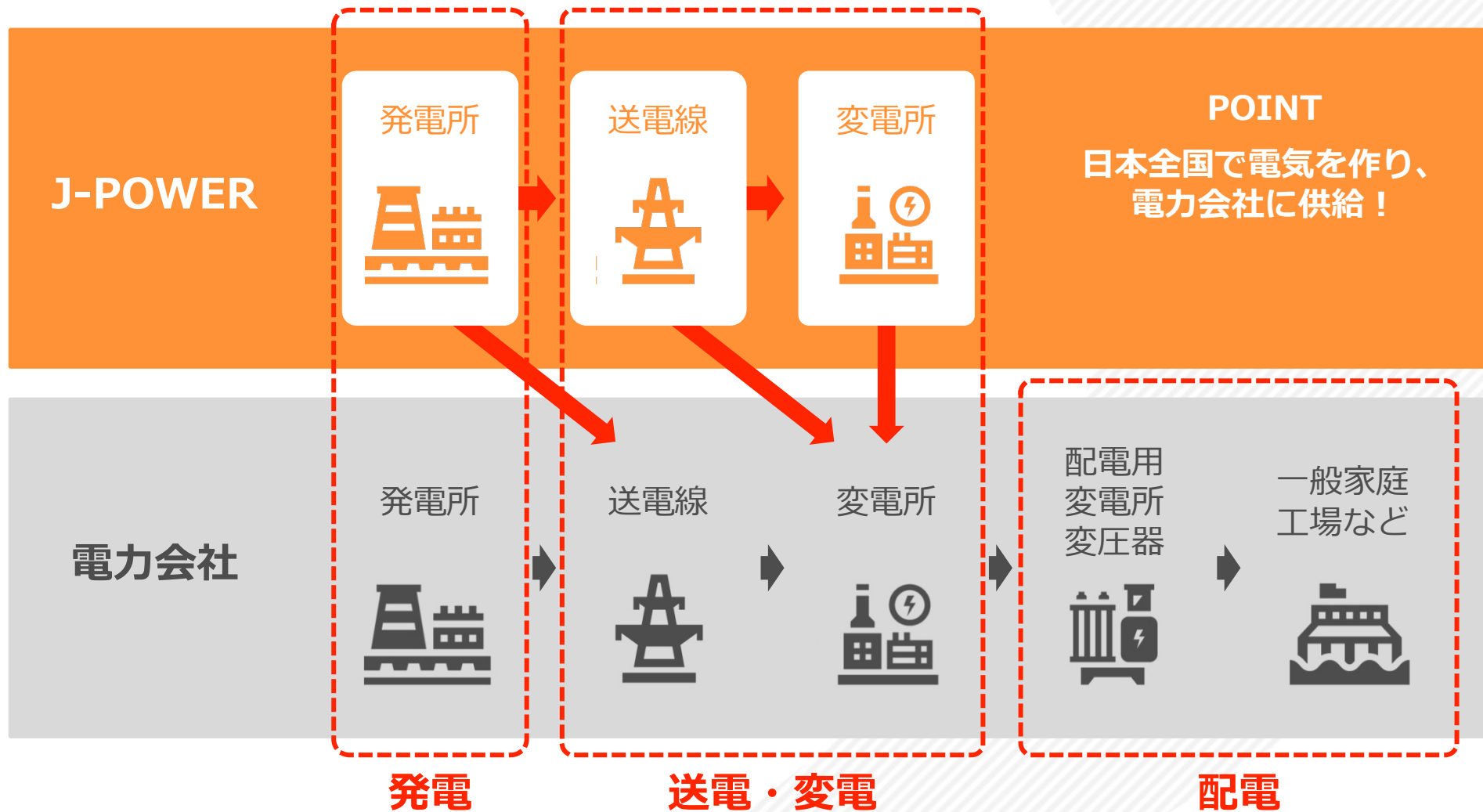


大間原子力発電所 (建設中)



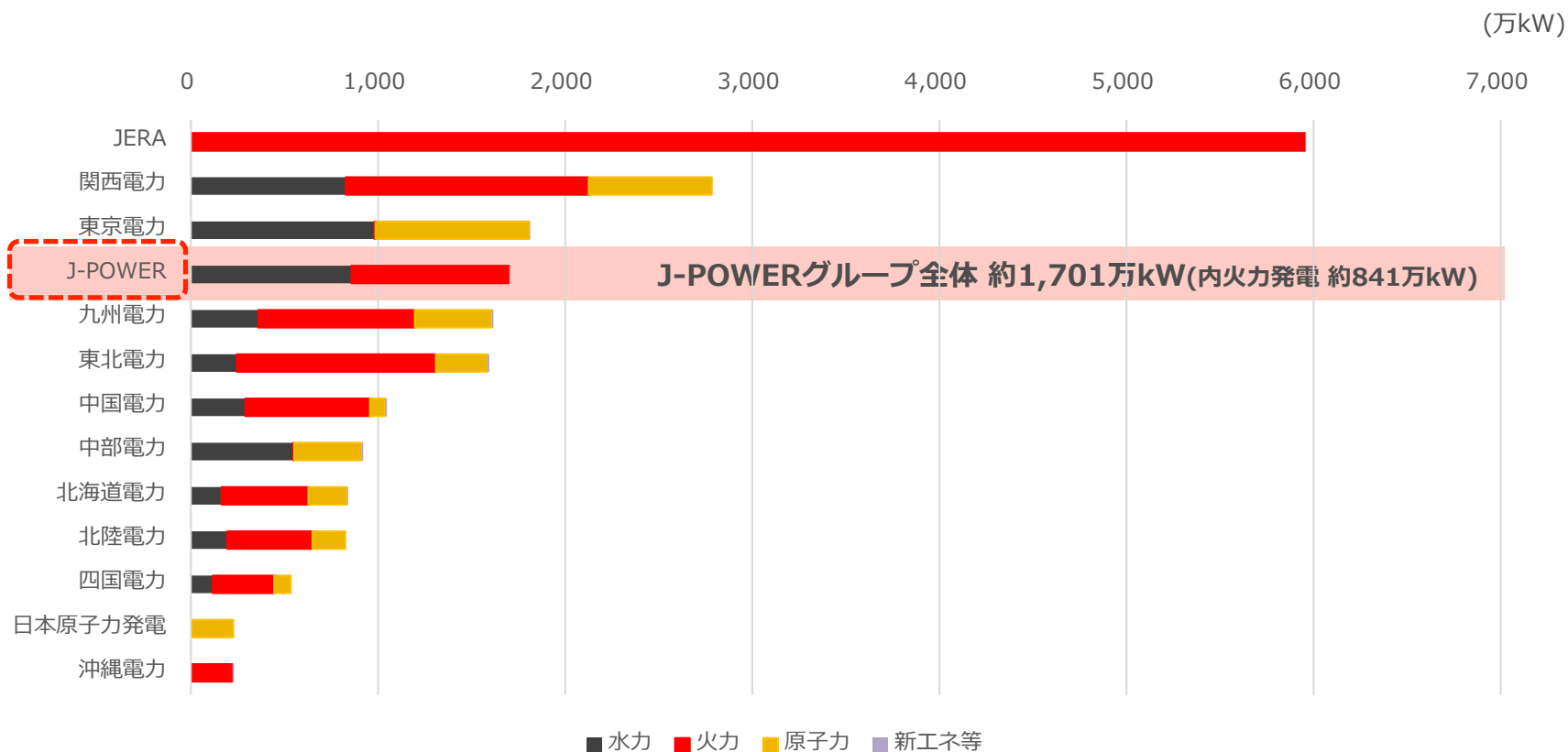
J-POWERグループの業態について

つくった電気を**電力会社**などに**販売（卸売り）**しています。



日本の電力会社比較① 発電所規模

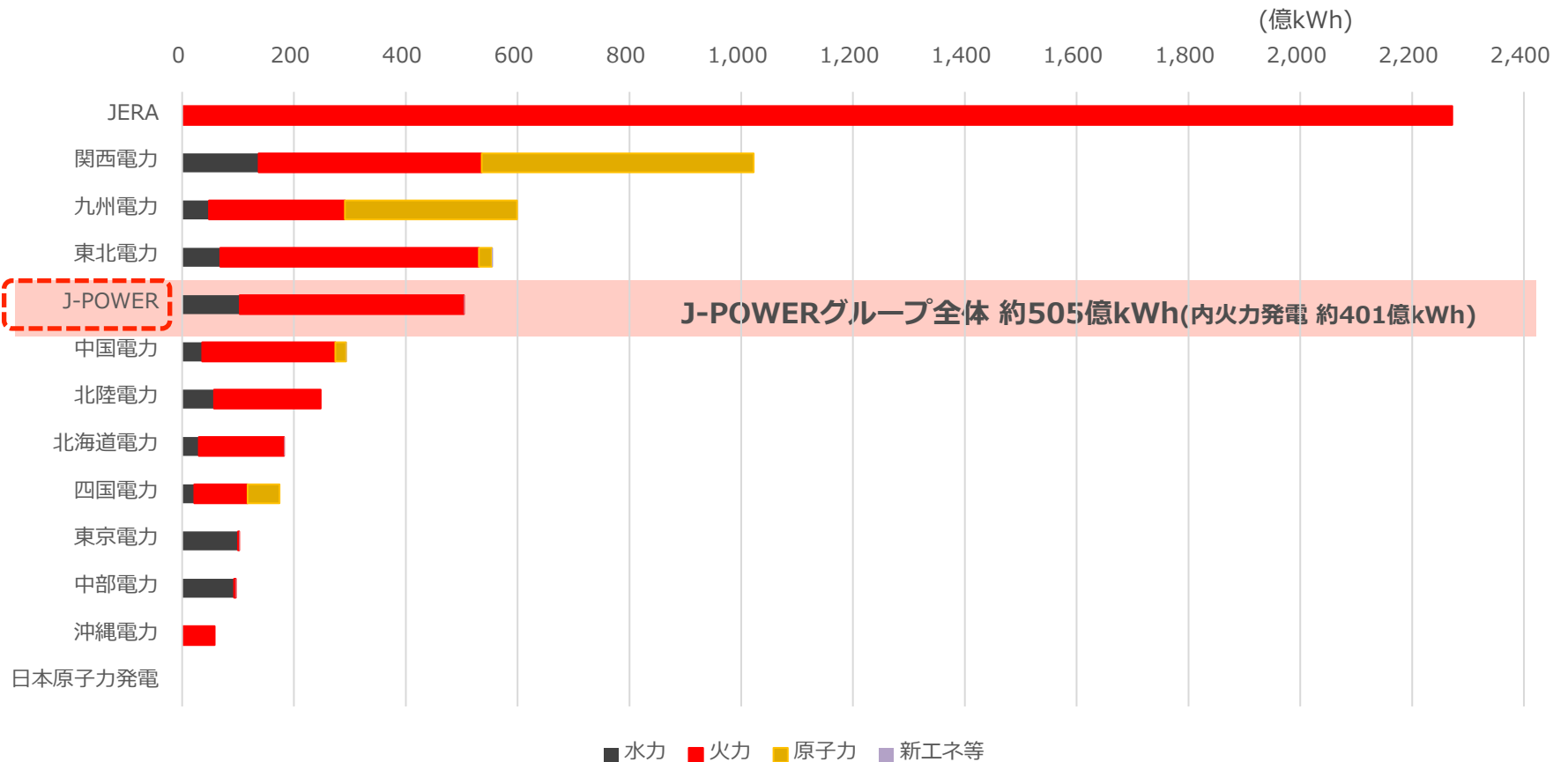
電力会社の認可出力（発電所の規模比較）（2024年度）



出所：「電力調査統計」（資源エネルギー庁）

日本の電力会社比較② 発電電力量

電力会社の発電電力量実績 (2024年度)



出所：「電力調査統計」(資源エネルギー庁)

J-POWERジェネレーションサービスの使命と今後

電力エネルギーの安定供給に貢献する。

日本の約5%※の電気はJ-POWERジェネレーションサービスが運営する火力発電所で作られたものです。

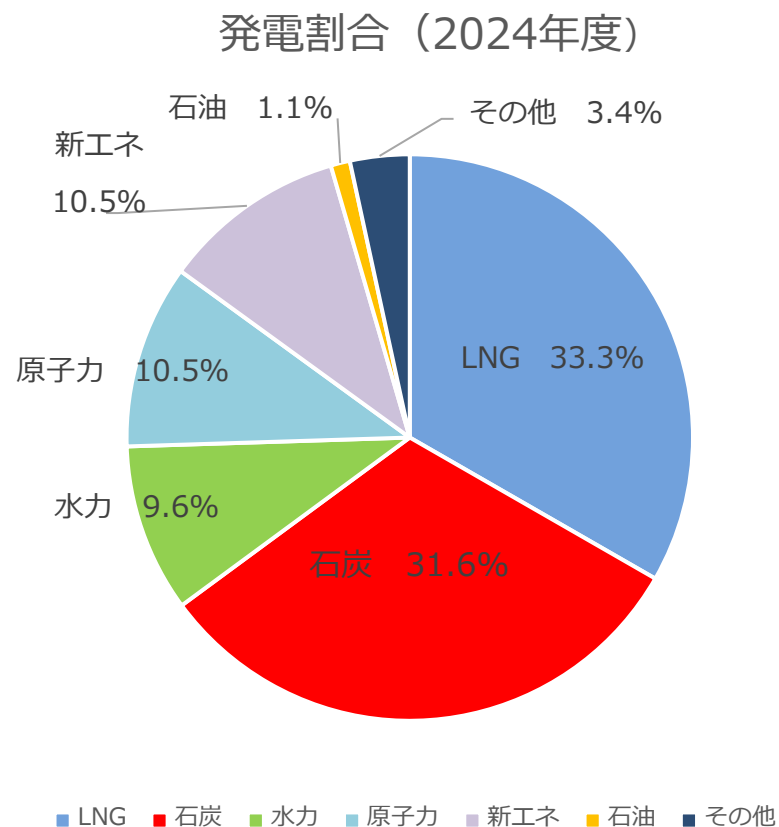
わたしたちは、人々の求めるエネルギーを不断に提供し、快適で豊かな社会の実現に貢献することが求められています。そのため、日本のエネルギーを支えるという強い思いをもって、社員一同懸命に誇りを持って仕事をしています。

今後は、カーボンニュートラルへの取り組みを行い、CO2フリーのエネルギーを不断に提供し、持続可能な社会の実現に貢献します。

※参考引用：2024年度発電実績（資源エネルギー庁）

石炭火力発電所の役割①

◎火力発電は、重要なベースロード電源です

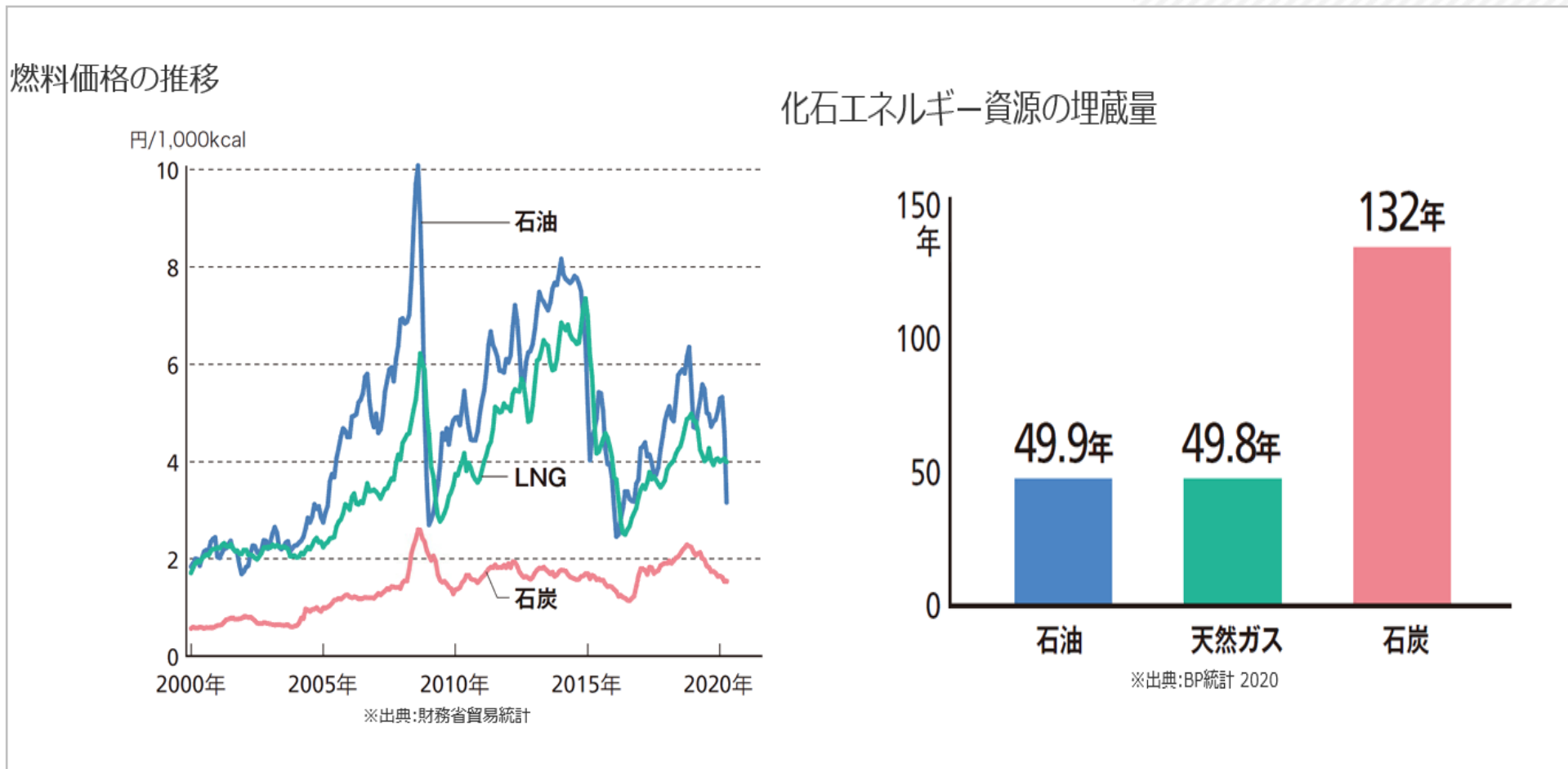


※出典:資源エネルギー庁 統計表一覧結果概要

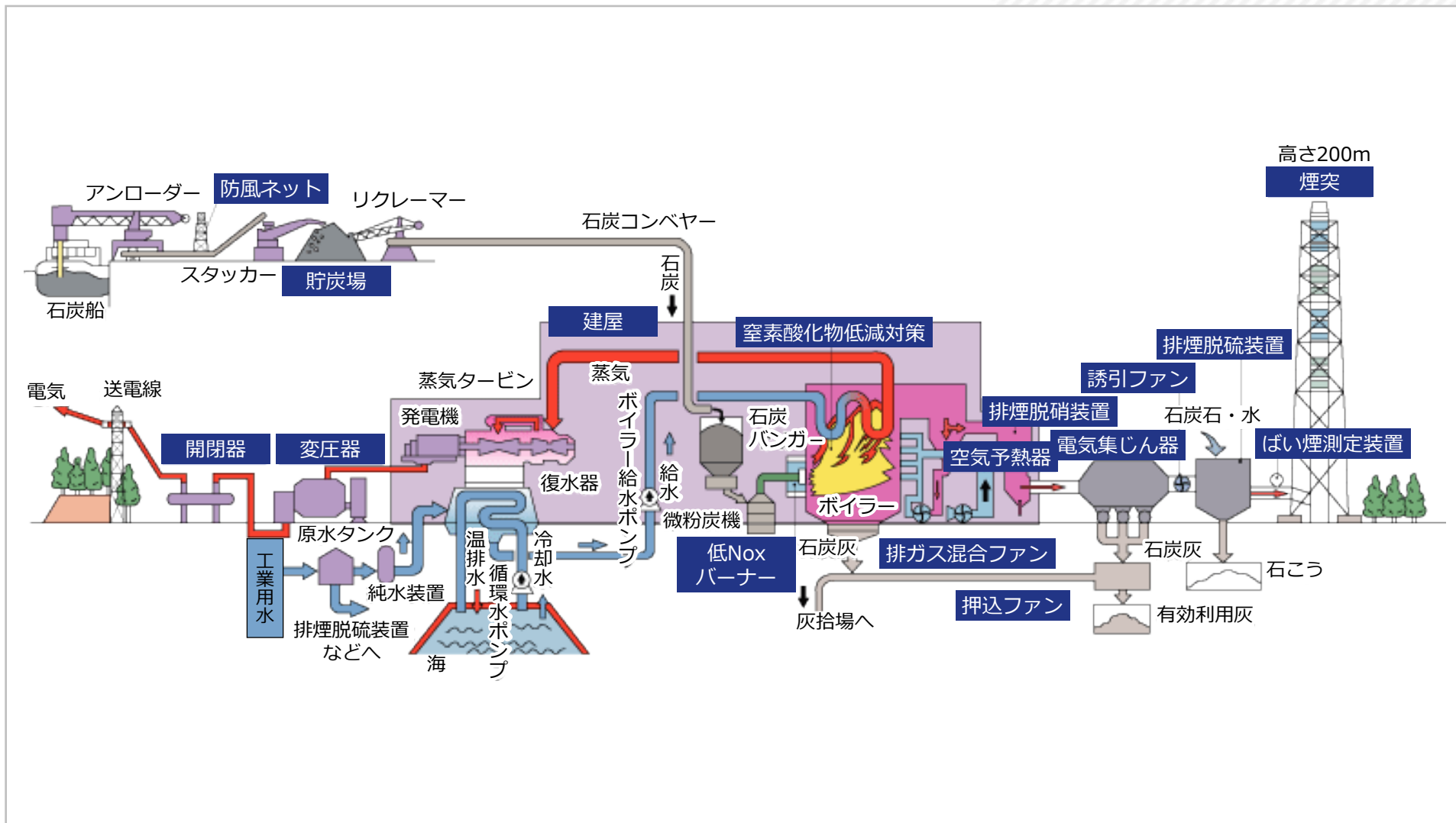
➤ 全体の約66%を火力発電(LNG、石炭、石油)に依存している

石炭火力発電所の役割②

石炭火力は燃料価格が安価であり、地政学的優位性のある資源を活用できる。



石炭火力発電所のしくみ



J-POWER “BLUE MISSION 2050” (カーボンニュートラルと水素社会の実現)



日本および世界で今後も石炭が必要とされる中、
J-POWERグループでは石炭利用の脱炭素化(ゼロエミッション化)が極めて重要と考えています。

ゼロ
エミッション化

- 2021年2月に“J-POWER BLUE MISSION 2050”を公表し、
2050年の発電事業のカーボンニュートラルの実現に向けて
段階的に挑んでいきます。そのマイルストーンとして、**2030年
のCO₂排出量を46%削減**します。
- そのためには、再生可能エネルギー等のCO₂フリー電源の拡大
や、日本の電力ネットワーク増強への貢献に加えて、**石炭火力
発電を着実にCO₂フリー水素による発電に置換していく必要が
あります**。また、その際には水素発電だけではなく、鉄鋼・化
学等の他産業での水素利用に貢献することによる事業領域拡大
の可能性も追求していきます。

J-POWER “BLUE MISSION 2050” (大崎クールジェンプロジェクト)



国のクリーンコール政策に則り、「革新的低炭素石炭火力発電」にむけて、中国電力(株)と共同で大崎クールジェンプロジェクトを推進しています。

本プロジェクトは、2012年度から経済産業省補助事業、2016年度から国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構助成事業として実施しています。

第1段階 完了

酸素吹IGCCの実証試験



第2段階 完了

酸素吹IGCCにCO₂の分離回収設備を組み込んだ
CO₂分離・回収型IGCCの実証試験



第3段階 完了

燃料電池を組み込んだCO₂分離・
回収型IGFCの実証試験



バイオマス混合ガス化 CO₂ 分離・回収型酸素吹 IGCC の実証試験を開始

CO₂ 分離・回収設備を備えた IGCC にバイオマス燃料を混合するのは世界初であり、CO₂ 貯留・利用技術との組み合わせにより、カーボンニュートラルはもとよりその先のカーボンネガティブを実現することが可能となります



大崎クールジェン実証試験設備 (広島県・大崎上島)

J-POWER “BLUE MISSION 2050”

GENESIS松島計画



大崎クールジェンプロジェクトで実証した成果の商用化を目指し、松島火力発電所(長崎県)では「GENESIS※松島計画」をスタートしました。既設の松島火力2号機に新たにガス化設備などを付加してアップサイクルを行い、水素を含むガスで発電を可能にします。

※J-POWER GENESIS VISION：将来的なCO₂フリー水素発電も視野に入れた
カーボンニュートラル実現に向けた取り組み(商標登録出願済)

既存設備



石炭ガス化
システム



水素を含む
ガスで発電

2024年度末をもって、松島火力発電所1号機を廃止、同2号機を休止し、カーボンニュートラル実現に向けてCO₂フリー水素発電を目指した本計画を推進しています。

J-POWER “BLUE MISSION 2050”



BLUE MISSION 2050 ロードマップに従い、非効率石炭火力をフェードアウトさせるとともに、高効率火力も地点の特性を踏まえて最適な技術を選択し、電力安定供給に貢献しながら低炭素化・脱炭素化を図ります。



※本計画は、政府のGX政策（エネルギー基本計画・地球温暖化対策・NDC等）、電力需給状況、電力制度設計、産業発展の進捗等の前提条件に応じて随時更新・見直し・詳細化する



主な業務のご紹介

- ①運用業務（オペレーション）
 - ②保守業務（メンテナンス）
 - ③土木・建築業務
- 技術系職種（機械職・電気職・化学職）
- 技術系職種（土木職・建築職）



①運用業務（オペレーション） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）



①運用業務（オペレーション） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）

発電所の運転管理業務（発電所の運転と監視）
⇒24時間体制で発電所を動かし続けるミッション。
社会を支える重要な役割を担う。

①発電設備の運転

主機(ボイラ・タービン・発電機)

環境対策設備（排煙脱硫設備・排水処理設備・揚運炭設備・灰処理設備）

交替勤務

②発電設備の運用管理

③発電設備全般に係る維持管理

④燃料、石炭灰処理・副生品等関連

日勤勤務

①運用業務（オペレーション） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）

交替勤務について：8日で1サイクルの2交替勤務制

勤務時間（10:10勤務 ※2時間休憩あり） ※日勤勤務 8:30～17:00

1直 8:00～20:10 2直 20:00～8:10

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
1直	1直	休み	2直	2直	休み	休み	休み



先輩社員の声

慣れるまでには一苦労ありますが、業務中に2時間の休憩を取得したり、休みが多いサイクルになっているので、身体的負担が少なく配慮されています。また、交替勤務の手当が支給されますので、メリットを感じています。

①運用業務（オペレーション） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）

〈1直勤務(08:00～20:10)の1日の流れ〉

07:00 起床

07:50 出社

08:00 業務開始(引継ぎ開始)

08:30 ミーティング

発電所各装置の情報を共有、担当箇所の作業内容確認など

09:00 現場パトロール、作業対応

12:00 休憩1時間(昼食)

13:00 引継ぎ日誌の作成、メールチェック

16:00 現場パトロール、作業対応

17:00 休憩1時間

20:00 次直との引継ぎ

20:10 業務終了

21:00 帰宅

22:00 晩御飯、入浴

24:00 就寝

〈2直勤務(20:00～08:10)の1日の流れ〉

18:30 起床

19:50 出社

20:00 業務開始(引継ぎ開始)

20:30 ミーティング

発電所各装置の情報を共有、翌日の作業チェックなど

21:00 メールチェック

21:30 休憩1時間

22:30 現場パトロール

23:30 日誌の作成

01:30 作業対応、不定期で勉強会実施

04:00 休憩1時間(仮眠など)

06:00 パトロール

08:10 業務終了

09:00 帰宅、入浴

12:00 就寝

②保守業務（メンテナンス） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）



②保守業務（メンテナンス） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）

発電所の保守管理業務

⇒火力発電所は、巨大なプラント。安定して運用するためには、日々の保守(メンテナンス)が欠かせません。

①発電設備の保守・点検

2～3年に1回程度の周期で大規模な定期点検作業
プラントの各種機器の分解点検

②発電設備の新規設置、取替・更新

③発電所の大規模修繕工事の計画・実施

発電設備は、多数の機械設備・電気設備・制御機器などが組み合わせることで能力を発揮させ、全てを正常に稼働させる必要がある。

②保守業務（メンテナンス） 技術系職種（機械職・電気職・化学職）

〈保守業務1日の流れ〉

- 07:00 起床
- 08:20 出社
- 08:30 業務開始、ミーティング
班内ミーティング、朝の体操
- 09:00 修繕作業対応
- 12:10 昼食(会社の食堂)、休憩
- 13:00 デスクワーク、各種資料作成
- 15:00 現場調査
- 16:00 外部施工業者と打合せ、社内会議
- 16:50 翌日の業務整理
- 17:00 退社

③土木・建築業務 技術系職種（土木職・建築職）



③土木・建築業務 技術系職種（土木職・建築職）

発電所の維持管理業務
建物・土木工作物の保守・点検

土木設備：海上デッキ、揚炭栈橋、取水口、ポンプ
建築設備：建物全般 煙突、サイロ、倉庫、事務所

火力発電所内の測量・点検・調査・補修、維持管理の工事
などを担当。

③土木・建築業務 技術系職種（土木職・建築職）

〈土木・建築業務1日の流れ〉

- 07:00 起床
- 08:20 出社
- 08:30 業務開始、ミーティング
班内ミーティング、朝の体操
- 09:00 修繕作業対応
- 12:10 昼食(会社の食堂)、休憩
- 13:00 デスクワーク、各種資料作成
- 15:00 現場調査
- 16:00 外部施工業者と打合せ、社内会議
- 16:50 翌日の業務整理
- 17:00 退社

J-POWERジェネレーションサービスの働き方

J-POWERジェネレーションサービスでは、社員の働きやすい環境作りと成長へのサポートが最も重要だと考えています。

ワークライフシナジー

「プライベート」の充実と「仕事」の質を相乗的に向上するように努めています。

生産性高く働く

ベストコンディションで働ける職場作り、能力を最大限に発揮できるようにしています。

能力向上のサポート

OJT方式による業務指導と、充実した研修体系を整え、社員の成長をサポートしています。

2025年入社定着率100%(31名中0名離職)
2024年入社定着率 95%(23名中1名離職)
2023年入社定着率100%(31名中0名離職)

3年目以内離職率1.1%

J-POWERジェネレーションサービスの働き方

- 時間外労働、有給休暇取得状況の見える化
- 業務可視化ツールの導入
- スイングタイム制度の拡大運用
- フレックスタイム制度の導入
- テレワーク勤務制度
- 勤務間インターバル(試行)
- No残業デーの更なる徹底

月平均所定外労働時間

15.5 時間

※2025年度実績

全社員の
年平均有給休暇
取得数

18.7 日

※2025年度実績

育児休業等取得状況
(育児休業等および育児目的休暇の取得状況)

(男女合計)

100 %

※2025年度実績

(男女合計)

21 人

※出産に伴う退職者0名※2025年度実績

ワークライフ
バランス

- 出産・育児休業の拡大、育児・介護による短時間勤務
(女性：産前6週間・産後8週間、男性：産前産後通算8日)
- 育児休業・育児休業の推進
- 時間休暇の取得（時間単位での有給休暇取得が可能）
- 若年帰省旅費の支給

研修体系、キャリアフロー



- ・入社後、ビジネスの基本的なスキル習得、会社の基礎的な知識習得をはじめとする新入社員研修を1か月実施します。技術系社員のみさらに1か月間、研修センターにてデモ機械を用い、実務的なスキル習得向上に努めます。
- ・2年目研修など若手社員向けのフォロー研修から中堅社員向け研修、ベテラン社員研修、管理職向け研修を始め年次を問わず、研修を受講します。
- ・通信教育、目的別研修などを利用し自己研鑽に励み、会社認定の資格に合格すると祝金を支給する制度もあります。

有給休暇について（補足）

☆働きやすさ

✓有給休暇取得率の高さ

全社員の年平均有給休暇取得日数**18.7日**（2025年度実績）

年度20日付与のため、約94%の消化率

〔全国平均12.1日 取得率66.9%〕

〔※引用参考：厚生労働省 令和7年就業条件総合調査〕

尚、特別休暇・積立休暇は上記日数に含まれていないため、実際はこれよりもさらに有給休暇を取得していることとなります。

その他)

特別休暇：有給休暇とは別に休暇取得可能 夏期休暇、結婚休暇etc

積立休暇制度：消化できなかった有給休暇を積立可能な制度

時間休暇制度：1時間単位で有給休暇を取得可能な制度

育児休業、その他（補足）

☆働きやすさ

✓育児休業の取得

男性、女性社員ともに育児休業取得が可能な職場環境

育児休業等取得状況:取得率100%(2025年度実績)

法律以上の制度を導入しております。

- ・育児休業開始から暦日2週間は給与全額支給
- ・産前産後休暇：女性は産前6週産後8週の給与全額支給
男性は8日間の特別休暇制度あり
- ・育児短時間勤務制度あり
- ・フレックスタイム制度あり
- ・フェムケア休暇

✓その他

退職金制度、健康保険組合、定期昇給・賞与、各種手当の充実…など

福利厚生について①

☆手厚い福利厚生

①寮、社宅完備です！定年(65歳)まで入居可
住宅手当30,000円/月を支給

寮 : 1ルーム個室、食堂完備(一部例外あり)
管理費：現業機関20,000円/月 本店地区30,000円/月
住宅手当30,000円/月支給のため居住費を抑えることが可能
⇒可処分所得(使える金額)が多い！

☆女性社員は、借り上げ寮(市中物件)や社宅等にご入居いただく場合がございます。

社宅 : 概ね3LDK、扶養家族がいる場合入居可
管理費：現業機関25,000円/月 本店地区50,000円/月
住宅手当30,000円/月支給のため居住費を抑えることが可能

寮紹介写真

◎ 橘湾火力運営事業所 ツバメ寮



外観



玄関



浴室



寮個室

21歳以下の社員を対象に、毎年度1回実家への帰省旅費を支給します

福利厚生②

☆手厚い福利厚生

②カフェテリアプラン（年間5万円分の選択制福利厚生制度）

⇒旅行の移動費・宿泊費、スポーツ観戦のチケット代、奨学金の返済…など

③全国4か所の保養所

（千葉県千倉、長野県軽井沢・蓼科、京都市伏見区）

⇒格安で利用可能です！



就業条件

- 勤務時間 : 08:30~17:00 (発電所) 09:00~17:30 (本店)
運転業務従事者は、2交替勤務制。
- 休日 : 完全週休2日制、土日祝日、年末年始(12/29-1/3)、5月1日
2025年度休日実績124日
- 有給休暇 : 年20日付与(初年度から)、繰越・積立制度あり(翌年度まで繰越OK、
繰り越せない分は年10日を限度に最大40日まで積立OK)
時間休暇(有給休暇のうち5日[40時間]の範囲内で時間を単位として取得可能)
- 特別休暇 : 夏期休暇・創立記念日、結婚休暇、忌服休暇、法要・追悼・祭祀・休暇
、出産休暇、リフレッシュ休暇、海外出張休暇、転勤休暇、フェムケア
休暇、単身赴任帰省休暇、災害休暇、看護・介護休暇、公務休暇 他
- 昇給賞与 : 昇給(年1回:4月)、賞与(年2回:6月、12月)
- 諸手当 : 通勤手当、時間外手当(1分の残業でも30分単位に切り上げて支給)
住宅手当、地域手当、世帯手当、総合手当、昼食手当 他
- 定年制 : 有(65歳まで) ※人財登録制度(70歳まで有)

募集職種と採用人数について

全国転勤型のグローバル社員での採用となります。

・技術系総合職

機械職、電気職、化学職、土木職、建築職

2027年卒は10名程度の高卒採用を予定しています。

※採用実績(大学卒・高専卒・高校卒計)

2026年入社	: 技術系23名 (うち高卒13名)
2025年入社	: 技術系22名 (うち高卒11名)
2024年入社	: 技術系18名 (うち高卒8名)

初任給について

高校卒 : 257,600円

※総合手当40,000円、地域手当40,000円、住宅手当30,000円
昼食手当3,000円を含む。(食堂がない機関は昼食手当13,000円)

	初任給	2年目	3年目
高校卒	257,600円	263,900円	267,900円

※2年目以降は、標準昇給の場合。

モデル年収 (交代勤務手当含まず)

3年目(20歳) : 4,600,000円

5年目(22歳) : 4,800,000円

13年目(30歳・扶養1名) : 6,200,000円

23年目(40歳・扶養2名) : 8,200,000円

J-POWERジェネレーションサービスが求める人財

- **コミュニケーション力**を発揮できる方
- **社会貢献度の高い仕事**で成長したい方
- **周囲と協力して**仕事ができる方





わたしたちと一緒に、
日本のエネルギーを支えませんか？

エネルギーを支えることは、社会の未来を支えること
でもあります。

当社の一員として、日本の電力エネルギーを支えてい
きませんか？

みなさんを心よりお待ちしております。